



## 沼ノ平の大蛇と雨乞いの伝説

今年の干支は「巳（蛇）」。そして、今年の夏も暑く、加えて雨が降らず、農作物の育ちが心配になるところです。蛇にお願いしたら雨を降らしてくれる、只見にはそういう伝説があります。今回は浅草岳の北東に位置する沼ノ平での蛇と雨乞いの伝説を紹介します。

「夏、日照りが続くと、かつては雨乞いの儀式があったそうだ。浅草岳山麓にある沼ノ平には沼が48もあって、7匹の大蛇がいると言われていた。

村人は古鍋や古鎌を叩きながら、大声をあげて一番大きな沼に大蛇が嫌がる鍋などの金属を投げ込んで雨乞いを行った。すると、不思議なことに早速ご利益があった。しかし、ある時は大雨が降って、小さな沢を越して帰ることができないこともあったそうだ。」  
(出展：只見町史 民俗編)

地すべりによって地形が変わり続けている沼ノ平には現在、48も沼はありませんし、大蛇を見かけたという話も聞きません。大蛇がいたかどうかはともかく、雨乞い伝説が本当なら、沼に鍋が沈んでいるかもしれません。



▲伝説の舞台である沼ノ平。地すべり地帯にブナ林といくつかの湖沼がみられる。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。

■企画展「豪雪に育まれた豊かな川辺の生態系」

会期：2025年7月19日(土)～2025年12月1日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

※この広報紙は再生紙を使用しています

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています